北九.	州工業高	等専門学校	開講年度	令和03年度(2	2021年度)	授業科	日 確家・	統計基礎		
		או נינוניני	<u> </u>	11341103 172 (2	1021 12)	リス本「	<u>ты РЕТ </u>	初品了主英		
171日 <u>季</u> 1 科目番号	に旧刊	0101			科目区分	古田] / 必修			
							-			
授業形態 開設学科		授業 生産デザ [.]	イン工学科(機械創	創造システムコース	単位の種別と単位 対象学年	<u>全単位数</u> 履修単位: 1 5				
 開設期		前期			週時間数 2					
加政规 教科書/教	7++		 統計」大日本図書、	「新確率統計問題						
3/14音/3 03	<u> </u>	吉田 祐治		村唯学前記 可思	未」入口平凶音、	机茎啶奴-	子」人口本凶言	<u> </u>		
		一一百田 佑石	İ							
到達目										
2. 各種 (3. データ	離散的、連続の処理がで	続的)の確率を	ることができる。 分布の平均、分散、 な等の特性値を求め	標準偏差をもとめ ることができる。	ることができる。					
ルーブリ	<u> </u>		理想的な到達レ	 ベルの目安	標準的な到達レイ	未到達	未到達レベルの目安			
1. 確率および条件付き確率を求め ることができる。			確率の基本性質を理解し、条件付		確率の基本性質を理解し、条件付き確率などを求めることができ、 期待値を求めることができる。		でき、 また	確率の基本性質を理解できない。 また種々の問題で確率を求めるこ とができない。		
2. 各種 (離散的、連続的) の確率 分布の平均、分散、標準偏差をも とめることができる。			基礎的な確率分	布の平均、分散、 ることができ、応	基礎的な確率分布の平均、分散、標準偏差を求めることができる。		きる。 とが	平均、分散、標準偏差を求めることができない。		
		き、相関係数 ことができる	、 に関する基礎的	としてデータ整理 な統計計算ができ 特性値を求めるこ もできる。	統計処理の方法としてデータ整理 に関する基礎的な統計計算ができ 、相関係数等の特性値を求めるこ とができる。		ができ リー・	データの処理ができない。または 相関係数等の特性値を求めること ができない。		
 学科の3	到達目標」	頁目との関					•			
				 自然科学、情報技術	近に関する基礎を理	 !解できス				
)数学・物理・化学			関する共通基礎	せを理解できる	•	
数育方》	 去等									
双 <u>刀刀刀</u> 既要	_, ,,	確率およ	バデータの整理に関		•					
	 め方・方法			らく。重要な定理の あく。重要な定理の	-	頭を宿頭にし	・フレポート料	出を求める		
又来り延	V)/) /J/IA						J C V / N I J	四についりる。		
注意点		また、確	えんた「集合・命題 率分布の平均、分間 課題は必ず提出する	!」の分野が基礎とれ 敗、標準偏差の計算 ること。	よる学問であるので では数列の和や積分	で、しっかり 分の知識も。)と復習してお 必要であり、必	くこと。 必要に応じて復	習すること。	
授業の	<u> </u>	また、確 レポート 多上の区分	率分布の平均、分間	は、標準偏差の計算	はる学問であるのででは数列の和や積が では数列の和や積が □ 遠隔授業対応	分の知識も	必要であり、 _必 	くこと。 必要に応じて復 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 ニング	率分布の平均、分間 課題は必ず提出する □ ICT 利用	は、標準偏差の計算	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、	分の知識も	必要であり、↓	(要に応じて復		
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 ニング	率分布の平均、分間 課題は必ず提出する	は、標準偏差の計算	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、	分の知識も	必要であり、↓	(要に応じて復		
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング	率分布の平均、分間 課題は必ず提出する □ ICT 利用	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、	分の知識もが	必要であり、↓	3要に応じて復		
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、「はいっぱい」では、「はいいっぱい」では、「はいいっぱい」では、「はいい」では、「はいいっぱい」では、「はいいっぱい」では、「はいい」では、「はいい」では、「はいいっぱい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいいい」では、「はいいいいい」では、「はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	過ごとの到確率を計算試行と事象	必要であり、√ □ ま □ ま □ ま □ ま □ ま □ ま □ ま □ ま □ ま □	等に応じて復務経験のある。える率の意味を考え	教員による授	
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週	率分布の平均、分間課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、	の知識もの 週ごとの到 確率を計算 試行と事象 用いて計算	必要であり、↓ □ 実 i 達目標 する準備を整 を理解し、確 することがで	な要に応じて復 ・ 務経験のある。 える 率の意味を考え きる	教員による授	
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 ニング 週 1週 2週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、	の知識もの 週ごとの到 確率を計算 試行と事象 用いて計算	必要であり、↓ □ 実 i 達目標 する準備を整 を理解し、確 することがで	等に応じて復務経験のある。える率の意味を考え	教員による授	
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行 確率 I	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	分の知識もの 週ごとの到 確率を計算 試行とま事第 用いて計算 条件付き確	必要であり、√ □ 実	な要に応じて復 ・ 務経験のある。 える 率の意味を考え きる	教員による授 ・ ・ ・ ・ とができる	
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の存 確率 I 確率 I	改、標準偏差の計算 ること。	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	分の知識もの 過ごとの到 確率を計算 試行とま事 用いて計算 条件付き確 乗法定理を	※要であり、√ □ 実 達目標 する準備を整 を理解し、がで 率の意味を理 理解し、それ	3要に応じて復 3務経験のある。 える 率の意味を考え きる 解し、求めるこ	教員による授 、基本性質を ことができる ご計算ができる	
受業の] アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の存 確率 I 確率 II 確率 II	牧、標準偏差の計算30と。	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	砂の知識もの 過ごとの到 確率を計算 ままにて計算 条件付き確 乗法定理を 事象の独立	※要であり、√ 童目標 する準備を整確するの意味を理 理解し、がで理解しています。 でででするでででする。 ででですででする。 でででする。 ででですでする。 ででですでする。 でででする。 でででする。 でででする。 でででする。 でででする。 ででですででする。 でででする。 でででする。 でででする。 でででする。 でででする。 でででででででですでででででででででででででででででででででででででででで	3要に応じて復 3解経験のある。 える 率の意味を考え きる 解し、求めるこ を用いた確率の	教員による授 、基本性質を ことができる 計算ができる 3の計算ができ	
受業の 〕 アクラ	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行 確率 I 確率 I 確率 I 確率 II	牧、標準偏差の計算 ること。 复習 牧) I	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もの 週ででは、 で変をといいでは、 で変をといいでは、 で変をといいでは、 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でである。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でのできる。 でいていている。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。 でいていな。	※要であり、√ 童目標 する準備を整確するの意味を理解したがで理解し、それで理解し、それで要解し、それで要理解し、それでで要理解し、それでも関係をできません。	等に応じて復	教員による授 :、基本性質を ことができる ご計算ができる でまる。 なの計算ができる。 なのまででである。	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 一 ICT 利用 一 授業内容 集合と場合の数の行確率 I 確率 II 確率 II ででででである。	牧、標準偏差の計算 ること。 复習 牧) I	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	分の知識もの 週ごととの到 運率行い付き定独 一のまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	※要であり、√ 童目標 する準備を整確するの意味を理解したがで理解し、それで理解し、それで要解し、それで要理解し、それでで要理解し、それでも関係をできません。	3要に応じて復 3解経験のある。 える 率の意味を考え さる 解し、求めるこ を用いた確率の れを用いた確率 で、代表値、散	教員による授 :、基本性質を ことができる ご計算ができる でまる。 なの計算ができる。 なのまででである。	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	率分布の平均、分間 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の存 確率 I 確率 II 確率 II ででででである。 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 でででする。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででする。 ででなる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなな。 ででな。 ででなな。 ででなな。 ででなな。 ででな。	牧、標準偏差の計算 るごと。 複習 牧)I 牧)II	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もの 週ででは、 のの知識をした。 のののでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ので	※要であり、√ □ ま 達目標 する準備を整確するでは、それででするでは、それでです。 でもの 変数分の できなか アタの できなか アタータの できなか アタータの できなか アタータの できなか アタータの できなか アタータの できなか アターター アタの できない アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	3要に応じて復 3解経験のある。 える 率の意味を考え さる 解し、求めるこ を用いた確率の れを用いた確率 で、代表値、散	教員による授 、基本性質を とができる 計算ができる の計算ができる な布度について	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラーニ	また、 を上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の存 確率 I 確率 II 確率 II でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 できる。 でる	改、標準偏差の計算 ること。 複図 数) I 数) II	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もの 過確試用の知識もの で変を計算をといるできる。 をおいて付き理なのです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 でするでするでするです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなできなです。 できなできなできなです。 できなできなできなです。 できなできなできなですなです。 できなできなできなですですなですなですです。 できなできなですですです。 できなですなです。 できなできなですなです。 できなですなです。 できなできなですです。 できなですですです。 できなできなです。 で	※要であり、。	な要に応じて復 ででである。 でである。 である。 である。 である。 でも用いた確率のでいた。 でも用いた確率でいた。 でも、代表値、前 で、代表値、前 で、代表値、前 に、代表値、前 に、代表を理解	教員による授 、基本性質を ことができる の計算ができ なの計算ができ な布度について	
受業のM フクラー 受業計I	ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	率分布の平均、分間 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の存 確率 I 確率 II 確率 II ででででである。 でででである。 でででである。 でででである。 ででである。 でででする。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででする。 ででなる。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででなる。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででな。 ででなな。 ででな。 ででなな。 ででなな。 ででなな。 ででな。	牧、標準偏差の計算 るごと。 复習 牧) I 牧) I 牧) I	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、は、」は、「は、」は、」は、は、は、は、	けの知識もの 週確試用条乗事る1理1理 2次次解次解で、一ののでは、 到算象算確を立でででででいる。のででは、 ででは、 のでは、	※要であり、 ・ 達目標 する理に をするの意し、 を理るの意し、 を理るのでででででででででででででででででででででででいる。 ・ <br< td=""><td>ででは、できる。 では、できる では、できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる</td><td>教員による授 とよができる の計算ができるの計算ができるの計算ができる。 で 本度についる</td></br<>	ででは、できる。 では、できる では、できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	教員による授 とよができる の計算ができるの計算ができるの計算ができる。 で 本度についる	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラーニ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	率分布の平均、分前課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行 確率 I 確率 II 確率 II でででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 ででである。 でである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	牧、標準偏差の計算 るごと。 復習 牧)I 牧)I 牧)I	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、は、」は、「は、」は、」は、は、は、は、	かの知識ものでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	次要であり、 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	でででである。 「では、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	教員による授 、基本性質を ことができる の計算ができる の計算ができる でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのででのでのでのででのでのでのでのでの	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラー <u>コ</u> 画 IstQ	また、確 レポート 多上の区分 こング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	率分布の平均、分前 課題は必ず提出する □ ICT 利用 授業内容 集合と場合の数の行 確率 I 確率 I 確率 I で 中間試験 をデータ整理 (1 変数 中間試め をデータ整理 (2 変数 をデータを理 (2 変数 をで変数と確率分析 を変数と確率分析	数、標準偏差の計算 3ごと。 复習 数) I 数) I 数) I 布 I	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「中では、「中では、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」では、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、」は、「は、」は、「は、」は、」は、は、」は、「は、」は、」は、は、は、は、	かの知識ものでである。 のの知識ものでである。 のの知識をは、のででは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一	変すよ解するのであり、 達目標準値をするの解した。そのであり、 達目を整確で理るののでは、では、 であり、 達目標準値を整確で理した。 でするのでは、 でするでは、 ではずるでは、 ではばいるでは、 ではばいるでははいるでは、 ではばいるでははいるでは、 ではばいるでは、 ではばいるではないるではないるでははいいるでは、 ではばいるでは、 ではばいるでは、 では、	ででは、できる。 できる	数員による授 、基本性質を ことができる の計算ができる の計算ができる でのができる での計算ができる での計算ができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのができる でのがでのができる でのでのができる でのでのができる でのでのができる でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	
受業の原 アクラー 受業計[ティブラー <u>コ</u> 画 IstQ	また、	率分布のです。 幸労布のです。 本学のでは、分替では、分替です。 「CT 利用 ででは、分替では、分替では、分替では、分替では、分替では、分替では、の数のでは、の数のでは、できる。 「では、では、では、できる。では、できるでは、、分替では、の数のでは、できる。の数のでは、できる。の数のでは、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	牧、標準偏差の計算 3ごと。 复習 数) I 数) I を対) I 布 I 布 I	では数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは数列の和や積金のでは、「はいっぱい」では、「はいいっぱい」では、「はいいっぱい」では、「はいい」では、「はいいっぱい」では、「はいい」では、「はいいっぱい」では、「はいいい」ではいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	の知識ものでは、 ののの知識をは、 ののの知識をは、 のののののののののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 のののでは、 ののでは、 のののでは、 のののでは、 ののののでは、 のののでは、 ののでは、	変更であり、 達目標準値をするであり。 達目標準値をするであるであるです。 「ファッカーを表現では、 数 数 か	ででは、では、では、では、では、では、では、では、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	数員による授 、基本性質を ことができる の計算ができる の計算ができる でのができる での計算ができる での計算ができる でのがでのがでのがでのができる でのでのがでのができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでがでのでができる でのでのでができる でのでのでがでのでができる でのでのでがでのでがでができる でのでがでがでができる でのでのでがでができる でのでのでがでができる でのでのでがでができる でのでのでができる でのでのでがでができる でのでのでがでのでができる でのでのでがでのでができる でのでができる でのでできる でのでができる でのでができる でのでのでができる でのでのでができる でのでのでがでのでができる でのでのでがでのでができる でのでがでのででができる でのでのでがでができる でのでのででができる でのでのででがでができる でのででがでのででがでがででができる でのででのででがででができる でのででがででがででがでがででがででがででがででででがででででででででででで	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラー <u>コ</u> 画 IstQ	また、一ト 本 本 本 本 本 本 本 本 本	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	牧、標準偏差の計算 3ごと。 復習 数)I 牧)I 牧)I 布 I 布 II 布 II	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	変であり、。 達すをする理標 により であり。 であり。 であり。 であり。 であり。 ではます。 ではまな にない では できない できない できない できない いいできない できない いいかい できない できない かん	ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	数員による授 、基本性質を とができる 計算ができる なの計算ができる な布度についる な布度についる なする ではり、分散に なである。 では、分散に なでする。	
受業の原 ファクラー 受業計[ティブラー <u>コ</u> 画 IstQ	また、一ト 本 本 本 本 本 本 本 本 本	率分布のです。 幸労布のです。 本学のでは、分替では、分替です。 「CT 利用 ででは、分替では、分替では、分替では、分替では、分替では、分替では、の数のでは、の数のでは、できる。 「では、では、では、できる。では、できるでは、、分替では、の数のでは、できる。の数のでは、できる。の数のでは、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	牧、標準偏差の計算 3ごと。 復習 数)I 牧)I 牧)I 布 I 布 II 布 II	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	変であり、。 達すをする理標 により であり。 であり。 であり。 であり。 であり。 ではます。 ではまな にない では できない できない できない できない いいできない できない いいかい できない できない かん	ででは、では、では、では、では、では、では、では、できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。	数員による授 、基本性質を とができる 計算ができる なの計算ができる な布度についる な布度についる なする より)と分散に なでもり、分散に なでする	
受業の原 アクラー 受業計[ティブラー <u>コ</u> 画 IstQ	また、	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	牧、標準偏差の計算 3ごと。 復習 数)I 牧)I 牧)I 布 I 布 II 布 II	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	変であり、。 達すをする理標 により であり。 であり。 であり。 であり。 であり。 ではます。 ではまな にない では できない できない できない できない いいできない できない いいかい できない できない かん	ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	数員による授 、基本性質を とができる 計算ができる なの計算ができる な布度についる な布度についる なする より)と分散に なでもり、分散に なでする	
受業計に	ティブラーコ 画 1stQ 2ndQ	また、 を上の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	数、標準偏差の計算 を対して をがして を対して をがし をがして をがし をがして をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし をがし	では数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	変であり、。 達すをする理標 により であり。 であり。 であり。 であり。 であり。 ではます。 ではまな にない では できない できない できない できない いいできない できない いいかい できない できない かん	ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	数員による授 、基本性質を とができる 計算ができる なの計算ができる な布度についる な布度についる なする より)と分散に なでもり、分散に なである。	
□ <i>アク</i> ラ	ティブラーコ 画 1stQ 2ndQ	また、	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	改、標準偏差の計算 変) I 数) I 数) I 数) I 布 I 布 I 布 I 布 I	では数列の和や積がでは数列の和や積がでは数列の和や積ができます。	の知識もは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	変であり、。 達すをする理標 により であり。 であり。 であり。 であり。 であり。 ではます。 ではまな にない では できない できない できない できない いいできない できない いいかい できない できない かん	深度に応じて復 一次を表し、いたでは、 ででである。 でである。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 ででは、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 できる。 では、では、できる。 では、では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、できる。 では、では、できる。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	数員による授	
受業の原 ファクラー 受業計に サップ・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン・ファイン	ティブラーコ 画 1stQ 2ndQ	また、 を上の区分 シング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	数、標準偏差の計算 数)I 数)I 数)I 数)I 布 I 布 I 布 I を対)I を対しるが、対)I を対しるが、対)I を対しるが、対しるが、対しるが、対しるが、対しるが、対しるが、対しるが、対しるが、	では数列の和や積がでは数列の和や積がでは数列の和や積ができます。 □ 遠隔授業対応 □ □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	かの知識もは、では、一週、確試用条乗事る1理1理222離の2に連正2項をいて付定の、元すで、一次解次解次のでは、大変をとて付定の、元でで、一次の、の、型で分の、型での、のでは、型のが、型のの、のでは、型ののののでは、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、対し、	※要であり、。 童音をするです。 童音をするののでは、 一をするでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	ででは、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 でででででで、 ででで、 ででで、 でででで、 でででででででで	数員による授 、基本性質を ことができる の計算ができるの計算ができるの でであるでは、のかでは、 ででは、分散では、 ででは、分散では、 ででは、分散では、 ででは、分散では、 ででは、分散では、 ででが、 ででは、 ででは、 ででは、 ででが、 ででは、 ででが、 ででが、 ででが、 でがなが、 でがなが、 でがでが、	
受業計で	ディブラーコ 画 1stQ 2ndQ	また、	率分のでは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、分ででは、	数、標準偏差の計算 変と。 変別 I 数) I 数) I 布 I 布 I 布 I 布 I を I で I で I で I で I で I で I で I で	では数列の和や積/ □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	かの知識を表集事る1理1理222離の2に連正2項の知識をとて付定の、元すで、次解次解次解の知识の記録規則をとて付定の、元で、次解次解次解の、次のでは、次解次解が、次のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、のののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、のののでは、のののでは、のでは、	※要であり、。 □ 童 すをするの解析を整確で理をするの解析を表している。 □ 一	ででは、 ででで、 ででは、 ででは、 ででは、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、 ででで、	数員による授 、基本性質を とができる の計算ができる な布度についる でする でする でする でする でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる でできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる ででできる でででできる ででできる でででできる でででででできる でででででできる でででででできる でででででででででで	

		1次 ⁷ がで	1次元のデータを整理して、平均・分散・標準偏差を求めることができる。 2次元のデータを整理して散布図を作成し、相関係数・回帰直線を求めることができる。				前6,前7,前 9,前10,前 11,前12,前 13,前14,前 15
		2次元 を求					
評価割合							
	試験		小テスト	課題・演習	É	計	
総合評価割合	70		0	30	1	.00	
基礎的能力	的能力 0		0	0	C	0	
専門的能力	70		0	30	1	.00	
分野横断的能力	0	_	0	0	C)	